

伊万里有田共立病院 バイタル測定機器デモ実施手順（シナリオ）

1 部屋 4 床にて、患者①～④に下記に従って測定操作をデモしてください。

	患者①：標準測定フロー	患者②：標準測定 + 再測定	患者③：通信不良時対応	患者④：標準測定/血糖/清拭対応
1	操作者認証 を行う。			患者 4 を隔離対応が必要な患者と想定する。
2	患者 1 のリストバンドを読み取り、 患者認証 を行う。	患者 2 のリストバンドを読み取り、 患者認証 を行う。	患者 3 のリストバンドを読み取り、 患者認証 を行う。	患者 4 のリストバンドを読み取り、 患者認証 を行う。
3	体温 を測定する。	体温 を測定する。	体温 を測定する。	体温 を測定する。
4	血圧 を測定する。	血圧 を測定する。	血圧 を測定する。	血圧 を測定する。
5	SpO2、脈拍数 を測定する。	SpO2、脈拍数 を測定する。	SpO2、脈拍数 を測定する。	SpO2、脈拍数 を測定する。
6	測定値一覧を機器又は端末上で確認する。	いずれか 1 項目について 再測定 を行う。	病院指定の方法で 通信不良状態を模擬 する。	続けて 血糖 測定を実施する。
7	電子カルテへ送信する。	初回測定値と再測定値の表示・区別方法を示す。	送信操作を行い、送信不能時の表示、保存状態、警告表示を示す。	測定値を確認し、送信操作又は送信相当操作を行う。
8	電子カルテ画面上で、患者 1 の測定時刻、体温、血圧、SpO2、脈拍の反映したと仮定した説明を行う。	最終採用値を確認し、電子カルテへ送信する。	通信回復後、 保存済みデータを再送 する。	血糖を含め、反映後を仮定した場合の確認イメージを示す。
9	患者に使用した機器を片付け、次の患者へ向かう。（以降同じ）	反映後を仮定した場合、どの値が採用表示されるか、又はどのように履歴が残る想定かを示す。	再送後、反映されたと仮定した場合の確認方法、重複防止の考え方を示す。	測定終了後、機器本体、付属品、接触部位、カート等の 清拭又は消毒方法を実演 又は具体説明する。
10				隔離患者対応後に次患者へ移る際の注意点を説明する。